

講義科目名称： 保健統計学

授業コード： 53201200

英文科目名称： Health Statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
石井 滋			
月2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>病気の予防や健康増進を図るために実施される様々な保健統計調査とそれらに基づいて作成される保健指標について解説する。また、統計資料の集め方やその作り方についての基本的知識を習得するとともに、データの集計法や分析法について学ぶ。データの分析法については統計的な基礎知識を習得するとともに、代表的な統計分析についても具体的手法を様々な事例データを用いて学習する。</p>
授業の内容	<p>第1回 保健統計とは 保健統計学の目的について解説するとともに、本授業の概要について触れる。</p> <p>第2回 保健統計調査 現在行われている様々な保健調査について概説し、国民の疾病予防や健康増進を図るための統計的分析の重要性について解説する。</p> <p>第3回 代表的な保健指標 保健統計データに基づき作成される出生率、死亡率、平均寿命などの代表的保健指標について解説する</p> <p>第4回 統計資料の集め方 データの種類と標本の集め方について解説する。</p> <p>第5回 統計資料の図表によるまとめ方 集められたデータの全体的特徴を理解するために、度数分布や正規分布の見方や作り方について解説する。</p> <p>第6回 調査データの統計的集計法① 統計的集計としての代表値や散布度についてその意味と具体的集計法について解説する。</p> <p>第7回 調査データの統計的集計法② 統計ソフトを用いた基本統計量の算出方法についてケースデータを用いてその手順を習得する。</p> <p>第8回 データの種類および尺度とデータ分析の関係 データの種類および測定尺度とデータ分析の適応範囲について解説する。</p> <p>第9回 2つのデータの関係性の分析：相関分析 2つのデータの関連性を捉える相関分析について解説するとともに、ケースデータを用いてその手順を習得する。</p> <p>第10回 度数・比率(%)の差異の分析：<math>\chi^2</math>検定 度数や比率で捉えられたデータの相違を分析する<math>\chi^2</math>検定について解説するとともに、その手順を学習する。</p> <p>第11回 度数による両群間の比の分析：オッズ比 ある事象の起こりやすさを両群間で比較して、その生起する比率を示すオッズ比の考え方について解説する。</p> <p>第12回 2つの平均値の差の検定①：t検定 2つのデータの平均値の差を調べるt検定のやり方について解説する。</p> <p>第13回 2つの平均値の差の検定②：統計ソフトを用いたt検定 統計ソフトを用いたt検定についてケースデータを用いてその具体的手順を習得する。</p> <p>第14回 3つ以上の平均値の差の検定：分散分析 3つ以上のグループの平均値の差の検定について解説するとともに、分散分析についてそのやり方を習得する。</p> <p>第15回 まとめ 授業全体を総括しながら保健統計学についてまとめをおこなう</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健統計調査および代表的保健指標について、その内容について説明できる</li> <li>2. 統計資料の一般的な集め方や集計方法について理解し、実施できる</li> <li>3. データの統計的分析方法についてその基礎知識を説明できる</li> <li>4. データ分析の代表的手法について、ケースデータを用いて自分で分析でき解析結果の意味を説明できる</li> </ol>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義を中心に解説後、演習形式で課題への取り組みを併せて行う</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 授業の一部において、パソコンを用いたデータ解析を演習形式で行う（パソコン教室使用）</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】 特段の事情が発生した場合は、Zoom等による遠隔授業を実施する場合がある</p> <p>【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 授業への取り組み状況と課題提出状況および小テストの結果による総合評価</p>

	【割合】 授業への取り組み (20) 、課題提出状況 (20) 、小テストの結果 (60)
教科書・テキスト	保健統計・疫学 福富和夫・橋本修二 (著) 南山堂
参考書	あなたもできるデータの処理と解析 岩淵千明・浦光博・石井滋・西田公昭・神山貴弥 福村出版 また、授業中に適宜参考資料を配布する。
授業時間外の学修について (事前・事後学習について)	授業出席に当たってはテキストの指定箇所を事前学習するとともに、授業で学習した内容について復習と授業終了時の課題を作成すること。
履修上の留意事項	授業内容に関連して課題を与えますので、しっかり取り組んでください。
オフィスアワー	メール (ishiiis@jd6. so-net. ne. jp) で日程等を相談してください。
課題に対するフィードバックの方法	課題を出した翌週の授業の中で、課題内容を解説する。
実務経験	特になし
その他	なし